

令和7年 北秋田市議会9月定例会
一般質問通告者一覧表

○ 一般質問について

登壇順	議席	氏 名	会 派 名	質問方法	日 程	備 考
1	8	久留嶋 範子	共産党議員団	一問一答	1-1	9月8日
2	1	木村 謙一	無会派	一問一答	1-2	9月8日
3	11	松橋 久敏	清明会	一問一答	1-3	9月8日
4	7	福岡 由巳	無会派	一問一答	1-4	9月8日
5	2	三浦 倫美	共産党議員団	一問一答	1-5	9月8日
6	9	杉渕 一弘	新創会	一問一答	1-6	9月8日
7	4	福田 牧子	公明党	一問一答	2-1	9月9日
8	16	小笠原 寿	清明会	一問一答	2-2	9月9日
9	13	板垣 淳	共産党議員団	一問一答	2-3	9月9日
10	10	五代儀 義富	新創会	一問一答	2-4	9月9日

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 北秋田市議会 9 月定例会

順位	1-1	質問者	8 久留嶋 範子	(日本共産党 議員団)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨					理 事 者 の 答 弁	
1. 異常気象への対策について ①熱中症対策について 今年の夏も続く異常な暑さ、猛暑や豪雨などの異常気象は地球温暖化によって深刻化していると考えられている。 気象庁は、3ヶ月予報で、9月10月も平均気温が高く、秋も暑くなる見込みとしている。 当市での対策について伺う。 県内でも猛暑日が続き、熱中症で搬送される人が増加している。 1) 当市での今年度の搬送状況と特徴的な症状があればお知らせいただきたい。 2) 高齢者や一人世帯への見守り活動も重要になってくると思うが、そのような活動は行っているか。 3) 新学期が始まり、児童・生徒の屋外での活動や体調管理、細めな水分補給など留意すべき点があると思うが、暑さ対策は十分か。 2. 新型コロナ感染者数の増加傾向について ①県内でも新型コロナウイルスなどの感染症が、7月以降増加傾向にあり、市内でも高齢者施設での集団発生が報告されている。 1) 引き続き留意すべき点は何か。 2) 市ではコロナワクチン接種の助成を見直したが、接種率を上げる為に、どのような対策を考えているか。 3. ヤングケアラーへの対応について ①実態調査の結果をどう反映させるのか 市では、こどもの生活に関するアンケート調査を実施(7/10～7/31)。 実施後は市のホームページ等で結果を公表し、今後のこども・子育て施策の推進に生かしますとあるが、具体的にどう対応していくのか。 1) 北秋田市こども計画の施策では、今年度ヤングケアラーの状況把握に努めますとあるが、結果を受けてどのように対策を考えているのか。						

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 北秋田市議会 9 月定例会

順位	1-2	質問者	1	木村 謙一	(無会派)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨						理 事 者 の 答 弁	
1. 高齢者支援について ①高齢者の買い物支援の取り組みについて 買い物は高齢者にとっては、日常生活の基本でありとても重要であります。 買い物に行きたくても行けない方が食料品購入等に苦勞しているという話をされています。 これらの人たちが地域で暮らし続けるための高齢者支援について伺います。 1) 現状の高齢者の買い物支援制度について。 2) 市の高齢化率及び単身高齢者世帯の割合について。 2. 森吉山の国定公園化について ①森吉山を中核とした国定公園の新規指定について 環境省の令和 5 ～ 6 年度の環境調査結果では、森吉山は国定公園の指定要件を満たしています。 森吉山国定公園の新規指定に向けての考えを伺います。 1) 市長は、山岳団体の要望書提出（2023 年 2 月）の懇談において「山岳関係者の皆さんが国立昇格（編入）ありきでなければ、一気に国立編入ではなく、北秋田市単独の森吉山は国定公園の階段を踏んでからでもよいのではないか」と述べていますが、環境省の調査成果も踏まえて、今もその考えは変わっていないか。 2) 7 月 30 日に「森吉山の価値と未来を考える会」と「奥阿仁マタギの里にぎわいプロジェクト」から連名で要望書の提出がありましたが、今回の環境省の方針も含め森吉山全集域に係る私有地等の公園への組み入れについて住民説明会を開催し、市民の合意を得る時期に来たと思っております。如何お考えか。							

3. オストメイト用設備について

①オストメイト対応トイレについて

「オストメイト対応トイレ」は人工肛門・人口膀胱を増設したオストメイトの方が、排泄処理を容易にするための設備が備わったトイレです。

オストメイトの人たちが気軽に利用出来るオストメイト対応トイレについて伺います。

- 1) 市内のオストメイト対応トイレの設置状況について。
- 2) 市のオストメイトの人数について。

4. 大雨による災害について

①河川情報の充実と応急復旧体制について

8月20日、前線や暖かく湿った空気の影響で比立内では8月の観測史上最大雨量を更新し、阿仁合地区では高齢者等の避難が発令されました。

市民の皆様の安心安全の実現に向けて、大雨による災害に対する河川情報の充実や家屋への浸水等を防ぐ土嚢の確保について伺います。

- 1) 河川における監視カメラの整備について考えは。
- 2) 出水期や今回のような記録的な大雨が予想された場合、一定数の土嚢の在庫を事前に確保、備蓄しておくべきでは。

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 北秋田市議会 9 月定例会

順位	1-3	質問者	11 松橋 久敏	(清明会)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨					理 事 者 の 答 弁	
1. 空家対策等について ①管理不全空家等について 「空家等対策の推進に関する特別措置法」の一部改正により、特定空家等になる恐れのある空家等は、管理不全空家等として指導・勧告ができることになった。 管理不全空家等の市の認定基準、認定件数及び指導・勧告の状況を伺います。 ②空家等管理活用支援法人について 「空家等対策の推進に関する特別措置法」の一部改正により、空家等の活用や管理に取り組む空家等管理活用支援法人制度が創設された。当該法人の指定についての市の考えを伺います。 2. 森林経営管理制度について ①経営管理意向調査の結果と対象森林の管理について 令和元年度より、森林経営管理制度に基づき「森林を今後どのように管理していきたいか」など、所有者本人の意志を明らかにする意向調査を実施してきているが、これまでの結果と対象森林の管理について伺います。 1) 意向調査の進捗状況は。 2) 経営管理権集積計画の作成状況は。 3) 経営管理実施権の設定をどのように進めているのか、また、推進する上での課題はなにか。 4) 経営管理実施権の設定ができない森林の取扱い。 3. 観光振興について ①観光案内看板について 1) 市が設置している観光案内看板の維持・管理の状況について伺います。 2) 阿仁地区（水無、比立内）に設置している観光案内看板は色褪せや破損などで劣化している。更新についての市の考えを伺います。						

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 北秋田市議会 9 月定例会

順位	1-4	質問者	7 福岡 由巳	(無党派)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨					理 事 者 の 答 弁	
1. 森吉山の国定公園早期実現に向けて 環境省東北地方環境事務所（以下 環境事務所）は、2022 年 6 月 14 日に発表した国立・国定公園総点検事業のフォローアップについて、3 年余りの環境調査「八幡平周辺の調査結果について」を市民団体（6. 25）、秋田県と関係市町村（6. 30）、森吉エリア国立・国定公園化推進議員連盟（以下 議員連盟）の研修会（7. 22）に説明した。 その調査結果は、森吉山の価値と未来を考える会（以下 考える会）が要望してきた公園区分の選択、具体的な拡張地域、核心部の地種区分格上げ等の要望事項が全面的に組み込まれた内容になっている。 環境事務所は「これまでの調査成果により、本地域には大規模で原生的なブナ林が連続して存在するといった共通点はあるものの、各地域ごとの風景形式の差異も大きく、今後は地域ごとに国立公園の拡張・国定公園の指定に向けた検討を進めることとしたい。現時点では公園指定の方向性は以下の 3 点を想定している」とまとめ、その 3 点は。 ①森吉山を中核とした国定公園の新規指定 ②田沢湖抱返り、真木真昼県立自然公園を再編しての国定公園の新規指定 ③十和田八幡平国立公園の隣接区域での拡張候補地の検討 そして、環境省は「調査内容及び検討内容に頂いたご意見を踏まえ、候補地の具体的な指定区域の範囲や保護規制区域、必要な利用施設計画等の検討を今後進める」としている。 市長は、これまで「環境省の資質調査待ち」を繰り返してきたが、環境事務所は「森吉山は国定公園の新規指定を検討する」を選択した。今度は市長が北秋田市民の意向をまとめ、市議会の合意のもとに公園の利用増進計画を市民団体と共に作り上げていく第 2 ステージに入ったものと理解する。 環境省は、県条例に基づく県立自然公園の管理運営に対し指導する立場を持たない。公園区分の選択は国でも県でもなく、まずは北秋田市民の同意である。 以上のことから、2 点を質問する。						

- ①環境事務所の方針である「森吉山を中核とした国定公園の新規指定を検討」について是か非か、市長の判断をうかがう。
- ②森吉山国定公園の新規指定に係る公園計画の保護規制計画は環境省が資料を作る。利用施設計画は市や市民団体の要望を受けて県が作成することになる。考える会からは既に具体的な利用施設計画の一部が提案されているが、この計画に係る市の策定方針はいかがうかがう。

2. 森吉山荘の営業再開について

森吉山荘は、2022 年休館して以来 3 年が過ぎ 3 度の冬を越した。施設の痛みは休館したことによるものが大きい。

再稼働予定の森吉山荘は計画によれば「本館のみを活用し温泉や食事提供なしの簡易型宿泊施設」となっている。

利用形態は、アウトドア愛好者、青少年野外活動利用者が主体になるという説明をしているがどの位利用されるのかは疑問が尽きない。

このような温泉宿泊施設を単なる簡易型宿泊施設に変質させようとする整備方針は、国定公園の新規指定を目前にして齟齬が生じている。

また、北秋田市が運営するすべての宿泊施設のみならずホテル誘致を含めて北秋田市全体の収容宿泊キャパシティの底上げを目指すという市長の選挙公約にも逆行する観光行政ではないだろうか。

以上のことから、2 点を質問する。

- ①国定公園の集団施設地域として、また奥森吉の防災拠点としてなどを展望しこれまで通りの開業を目指すことを求める。
- ②これまで言及されている関係者等を含めた住民説明会はいつ行うのか。

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 北秋田市議会 9 月定例会

順位	1-5	質問者	2	三浦 倫美	(日本共産党 議員団)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨						理 事 者 の 答 弁	
1. 大雨災害について ① 8 月 6 日から 8 日、8 月 20 日、21 日に発生した大雨災害について 1) 避難状況、被害状況と対応について、現時点での確認状況をお知らせ下さい。 ② 住家、非住家に被害を受けた方への支援策拡充を 1) 床上浸水、床下浸水への支援制度について、ご説明下さい。 2) 床上浸水、床下浸水への支援制度の更なる拡充を検討できないでしょうか。 3) 非住家への支援策も検討すべきと思いますが、市長の考えをお聞きします。 ③ 合川地区の羽根山沢川河川改修について 1) 羽根山沢川の氾濫で市道、農地の冠水、羽立集落の孤立が繰り返し発生し、住民や農家の方々の苦労が続いています。 県管理の羽根山沢川の浚渫、雑木等の除去が進むよう、引き続き地域住民と連携し、県への要望強化を図るべきと思います。市の姿勢をお聞きします。 2. 農業支援策について ① 渇水対策について 1) 今夏の渇水に、どのような支援が行われたか、お聞きします。 ② 鳥獣被害対策について 1) 農地等への被害を防ぐために、どのような取り組みを行っているか、お知らせ下さい。 ③ 小規模農業者への支援策について、ご説明ください。							

一般質問通告書

令和 7 年 北秋田市議会 9 月定例会

順位	1-6	質問者	9	杉渕 一弘	(新創会)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨						理 事 者 の 答 弁	
1. 農業振興について ①米政策について 米の現状については、昨年の米高騰を受け農業者が生産意欲を高めた事で、令和 7 年産の米の全国収穫見込みは、前年比 40 万トン増の 719 万トンと増加幅は平成 16 年度以降最高となりました。 農業者が利益を期待して増産に動く一方で、その農業者を保護してきた政府は消費者を意識し、備蓄米の放出で米価格の引き下げに動いております。 この増産によって新米価格が下がるかと思われましたが、J A 全農あきたの令和 7 年産の概算金は、金額・上げ幅とも過去最高で、あきたこまちが 60Kg 当たり 2 万 8,300 円と新聞報道されました。 このような状況を踏まえ、以下についてお伺い致します。 1) 昨年と比較して、令和 7 年産米の主な品種の作付け比率はどうか。また、今後の水稻作付面積はどのように推移するのか。 2) 行政による生産数量目標は今後どうなるのか。 3) 水田収益力強化ビジョンの見直しが必要ではないか。また、産地交付金の活用方法についてはどうか。 ②主食用米の価格が高騰している事を受け、市民の家計負担軽減を図るため、スーパー等で米を購入する際に使える市民 1 人当たり 2,000 円のクーポン券を配布してはどうかお伺い致します。							
2. 安全・安心なまちづくりについて ①安全・安心なまちづくりは、行政と地域住民等が連携し、犯罪や事故、自然災害の被害を未然に防止し、安全で住みやすいまちづくりを実現する事です。そこで、以下についてお伺い致します。 1) これまでの取組みと、特に防犯カメラの設置状況及び今後の取組みはどうか。 2) 地域の環境整備の為、「防犯カメラ設置費補助」要綱を作成し設置希望のある自治会へ一部補助してはどうか。							

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 北秋田市議会 9 月定例会

順位	2-1	質問者	4 福田 牧子	(公明党)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨					理 事 者 の 答 弁	
1. 医療サービス向上 ①北秋田市民病院のアクセスの不便さを補う無料送迎バスの運行について 北秋田市は、広大な面積に市民が住んでいます。唯一の総合病院の機能を有する市民病院のアクセスの不便さにより、1 回通院するためにタクシー代を 8 千円、2 万円と支払っている市民が居ます。今後、ますます高齢化する市民にとって、全国的にも実施されている病院と最寄りの駅やバス停までの無料送迎バスの必要性を市民からの要望があります。 1) 北秋田市民病院と大野台駅、鷹ノ巣駅、比立内方面、阿仁合駅方面、前山方面、坊沢方面等への無料送迎バスの運行を実施できないか。 2) バス運行ができない場合、タクシー代の補助ができないか。 2. 気候変動時代の農業振興と防災対策 ①渇水や高温などの気候変動にあわせた農業振興の施策について 農業は、人間の命の源となる食物の生産を担っている。世界的に異常気象（渇水・高温度）により、農業の継続が困難な時代になっている。現在の気候変動に合わせた施策が必要と考える。北秋田の基幹産業である農業と、食物を守るための施策について伺う。 1) 今年の渇水と高温による被害（損害）状況と支援策。 2) 8 月の大雨、洪水、土砂災害による損害状況は。 3) 今後の農業に対する指導や支援策は。 ②前山から坊沢の米代川流域の広範囲の耕作地の冠水について 1) 耕作者の世帯数、法人数と被害状況。 2) 被害を起こしている原因と対策は。 ③綴子前野地区の民家前道路の土砂流出と冠水について 1) 被害が生じている原因と対策は。 2) 山の中腹に、機能していないと思われるため池の把握の有無と管理状況は。						

3. 被災者への支援のあり方

①床上、床下浸水ほか、敷地内の土砂崩れ、陥没等被災された住民への職員の対応について

- 1) マニュアルの作成はされているか。あるとすれば、提示を求めたい。
- 2) 床上浸水、床下浸水、等の清掃等について住民への説明書の有無は。
- 3) 心無い言葉に憤りを感じている住民の存在は把握されているか。
- 4) 被災後の片づけにボランティアを募っている自治体があるが北秋田市での取組は。

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 北秋田市議会 9 月定例会

順位	2-2	質問者	16 小笠原 寿	(清明会)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨					理 事 者 の 答 弁	
1. 地域振興について ①道の駅「たかのす」について 1) リニューアル後の入場者数を 60 万人と想定しているが「大太鼓の館」、アウトドアショップ「モンベル」や「ツーリストセンター・観光情報発信施設」、「室内遊戯施設」以外にも特徴のある道の駅にしなければこの数字は容易ではないと考える。入場者数増加には地域の特徴を生かした魅力ある商品を揃えた「物販・産直販売コーナー」、「レストラン」の充実が必要不可欠と思うが市長の考えは。 2) 北秋田市にはブランドの名高い牛・豚・鶏の生産者がいる。この食肉・畜産加工品を特産品直販所として品揃えを充実すれば、これらの商品の購入を目的として道の駅を訪れる人が増えると思うが市長の考えは。 3) 道の駅を訪れる魅力のひとつに「ここでしか味わえない食の魅力」が必要と考える。レストランにおいて、前述した食肉・畜産加工品を使用したメニューの開発、美味の探究が急務と思うが市長の考えは。 4) 近年、アウトドア初心者キャンパーでも気軽に楽しめる「車中泊キャンプ」が流行している。また、キャンピングカーなどの愛好者も年々増加している。道の駅「たかのす」の基本構想には「シャワー室」を設ける予定となっており、これらを活用できるようにして、秋田県内の道の駅にはまだ少ない「RV パーキングスペース」を設置し、車中泊を許可すれば、特徴のある道の駅になると思うが、市長の考えは。 5) 国土交通省と交渉し、日本海沿岸自動車道の鷹巣インターチェンジ 2 Km・1 Km 手前の高速道路の案内標識に隣接して「道の駅たかのす・世界一の太鼓の里」の案内看板設置ができれば高速道路利用者の道の駅への誘導が高まると思うが依頼を検討できないか。 6) コンセプトを明確にすることで、ターゲットとする顧客層に響きやすくなり、利用者が増え、結果的に売上や販売促進につながると考える。販売する特産品やサービス、または道の駅が目指す方向性の言語化（キャッチコピー）を行いアピールする必要があると思うが市長の考えは。						

②「森吉山荘」について

- 1) 先の「全員協議会」において森吉山荘劣化度調査報告、改修工事の概算事業費が示され、また6月定例会では「耐震診断業務委託費」が計上され承認された。耐震診断結果はこれからではあるが、昭和56年以前に建築された建物は、建築基準法に定める耐震基準が強化される前の、いわゆる「旧耐震基準」によって建築されている。よって、52年に建設された森吉山荘は、おそらく現行の耐震基準値に満たない可能性が高く、さらに事業費は膨らむものと想定される。費用をかけないための簡易宿泊施設であるが、賃借している土地にありながら、多額の改修費をかけてまで施設の必要性があるものなのか市長の考えを伺う。
- 2) 森吉山荘の再稼働が簡易型の宿泊施設として検討していくのであれば、地域住民の了解のもと、市が所有する土地へ新築で建設することにより事業費は抑制できると思うが市長の考えは。
- 3) 森吉山荘に近い温泉宿泊施設が事業承継により経営者が変わり、リニューアルオープンされた。新たな経営者と交渉し、森吉山荘の担う役割を託すことは考えられないか。

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 北秋田市議会 9 月定例会

順位	2-3	質問者	13 板垣 淳	(日本共産党 議員団)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨					理 事 者 の 答 弁	
1. 道の駅たかのす整備計画について ①整備への住民合意が得られているか 大金を投入することに市民からの批判は相変わらず多い。市長は住民合意を得たと考えているのか。 ②費用は 33 億 8,000 万円で収まるのか 市長は「33 億円は最大に見積もっての額」と言い、担当部局は「そこまで言い切れない」と答弁した。説明に齟齬がある。どっちが正しいのかしっかりした説明を求める。 ③整備による「市の活性化」について 道の駅を整備すれば市が活性化するとの言い分があるがその根拠は何か。 ④モンベル進出に前例のない大きな支援をするのはなぜか 利益を求める民間企業への公費支出は慎重であるべきと思うが、モンベルには大盤振舞するように見受けられる。他の民間企業への支援と大きな差があることをどう説明されるか。 2. 選択的夫婦別姓について ①「選択的夫婦別姓制度」導入をどう考えているか これまでの一般質問に対する市長答弁は「国民の理解の下に進められるべき」「国への要望については県や他市町村の動向を注視する」だった。その後、導入を求める世論はさらに盛り上がり、先の参院選でも大きな争点になった。世論の進展もふまえ市長の現下の考えを伺う。 ②実現に向け国に要望する考えはないか。 3. アメリカ空軍オスプレイの緊急着陸について ①アメリカ空軍 C V22 オスプレイ緊急着陸の際、どのような情報提供があったか さる 7 月 18 日、大館能代空港にアメリカ空軍の C V22 オスプレイが緊急着陸した。その際、東北防衛局や秋田県など関係機関からはどのような情報提供があったか。時系列で公表されたい。						

②日本政府を通じて米軍に申し入れ、または抗議をすべきでないか

北秋田市上空、とくに住宅街上空での低空飛行訓練は危険極まりない。北秋田市民の命を守る立場の市長として当市の上空で飛行訓練をしないよう申し入れ、または抗議をすべきでないか。

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 北秋田市議会 9 月定例会

順位	2-4	質問者	10 五代儀 義富	(新創会)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨					理 事 者 の 答 弁	
1. 資源ゴミ回収のルールについて ①古紙の回収ルールについて 資源ごみの分別・回収ルールに関して、市民からの疑問や不満の声が多く寄せられている。特に、紙ひもによる十字縛りの徹底や段ボールと厚紙の分別基準に関しては、納得感を欠く運用が市民感情を損なっていると感じるが市長の考えは。 2. 新設道路の安全対策について ①新たに通学路として指定された「北家後西屋敷線」に繋がる綴子川の柳生橋の安全性に懸念がある。通行車両の増加が予想される中、歩道のない橋の構造が児童生徒の安全を脅かす可能性があるため、早急な対策を求めるが市長の考えは。						